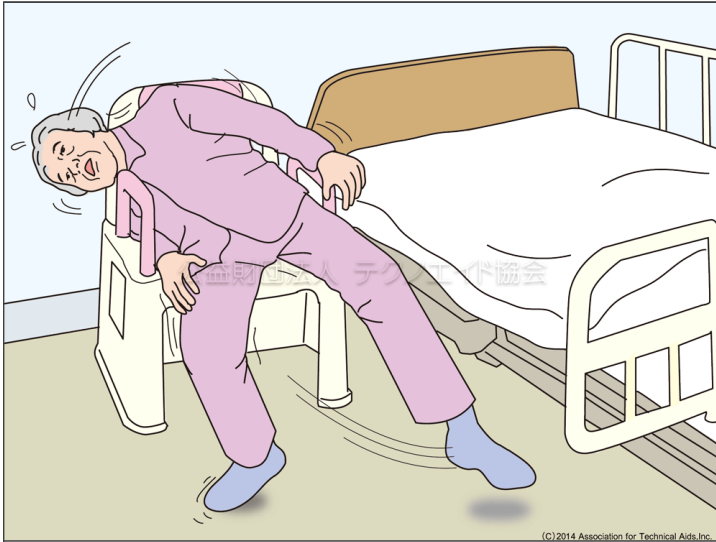


Case : 304

ポータブルトイレからベッドに移ろうとした際に転倒し、アームサポートと背もたれの間隙間に首を挟み、重大事故に遭いそうになる

### 場面の説明

ポータブルトイレをベッドから離して設置しており、移動用手すりが届かなかった。普段はアームサポートを握って立ち上げられるが、足が滑った拍子に握っていた手も外れ、後方に転倒し首を挟んでしまった



利用シーン	 移乗
	 排泄
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 腰掛便座
分類コード (CCTA95)	091203 (ポータブルトイレ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

### 解説

転倒の状況は不明ですが、なんらかの拍子で首が挟まってしまったものと考えられます。隙間に関する事故の報告は多く、ポータブルトイレに限らず、普段から危険な隙間の把握に努め、タオルなどを詰めておくなどの対策を検討しましょう。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：まさか、こんな隙間に首が挟まりこむとは考えもしなかった
- 人：転倒しやすい虚弱な状態で、ひとりで排泄動作をしていた
- モノ：首が挟まれやすい隙間があった
- 環境：手すり等安全な移乗動作ができる環境になっていなかった